

議 事（２）

路線バスのダイヤ改正（路線廃止等）について

1. ダイヤ改正に当たっての考え方



■趣旨

事業者においては乗務員不足が顕著な中、いわゆる「2024問題」による乗務員の労働時間や時間外時間の制約によって現状の運行体制を維持することが困難である。

乗務員の新規採用も見込めず、更には現職の高齢化もあり、利用者が少ない路線を中心に減便や路線廃止などを当市に限らず、室蘭・伊達・豊浦・倶知安・洞爺・浦河・静内・平取などでも予定しており、安定的な輸送体制の構築を目的としてダイヤ改正を実施する。

■改正内容

- 路線の廃止
- 経路の変更（バス停の廃止含む）

■改正時期

- 令和6年10月1日

■スケジュール予定

- 令和6年9月1日までに室蘭運輸支局に申請
- 利用者への周知は、9月中旬頃にバス停や車内にチラシを掲示するほか、道南バスWEBサイトに掲載

2. 廃止する路線



■ 郊外線 資料館登別温泉線（2便 上下線を併せた数字。以下同様。）

○登別温泉 ～ 登別駅前 ～ クリンクルセンター前 ～ 資料館前

【影響】

- ・片倉町、富士町、新川町の一部から登別温泉への直通は廃止となるが、既存路線の利用（乗り換え）で登別温泉方面に行くことが可能

■ 郊外線 若草経由 室蘭登別温泉線（7便）

○登別温泉 ～ 幌別駅西口 ～ 若草小学校前 ～ 東町ターミナル ～ 室蘭駅前広場

【影響】

- ・美園町、若草町、新生町から登別温泉への直通は廃止となるが、既存路線の利用（乗り換え）で登別温泉方面に行くことが可能

■ 郊外線 カルス・サンライバスキー場線（8便）

○登別温泉 ～ 紅葉谷入口 ～ カルス ～ サンライバスキー場

【影響】

- ・市街化区域の上登別町は公共交通空白地域となる
- ・カルス町、上登別町の住民、又はスキー場利用者は、登別温泉までの公共交通アクセスはタクシーのみとなる

3. 経路を変更する路線



■ 郊外線 登別温泉～登別駅前～幌別本町～室蘭駅前広場（19便）

⇒ 幌別本町経由（旧国道から国道36号に合流して室蘭方面）を 幌別駅西口経由（ツルハドラッグ幌別店から幌別学校道路踏切、幌別駅西口を經由し、富岸町のガスト交差点から国道36号で室蘭方面）に変更

【影響】

- ・登別方面に向かう一方だけ「富岸」「道路事務所前」「あかしゃ団地」「自衛隊入口」「幌別本町」「市役所入口」のバス停が廃止（新規14箇所、廃止6箇所は参考資料参照）となるが、若山町や桜木町などニーズがある地域の利便性が向上する。

■ 郊外線 足湯入口～登別温泉～伊達時代村～登別駅前（8便⇒20便）

⇒ 登別駅前～登別温泉の間、登別伊達時代村前の一箇所のみ停車に変更

【影響】

- ・停車する箇所を限定することで時間短縮し便数の増強を図り、オーバーツーリズム対策とする。（バス停は参考資料参照、その他系統における「登別温泉～登別駅前」区間での取扱いに変更なし）
- ・登別東町の一部、中登別町の住民、又は中登別町で降車する方は、既存の郊外線でアクセスは可能となっている。

4. 路線廃止及び経路変更の可否の判断について



■ カルス・サンライバスキー場線

○カルス・サンライバスキー場線の廃止

⇒上記路線廃止に対する代替措置

- ・生活交通としての考え方（市民生活部）
- ・義務教育機会の確保に対する考え方（教育委員会）
- ・観光交通としての考え方（観光経済部）

■ 経路を変更する路線

○郊外線 登別温泉～登別駅前～幌別本町～室蘭駅前広場間のバス停の一部取り扱い廃止

⇒最寄りバス停までの影響